工場、工事現場、オフィス、店舗などの

3 R って何だろう？

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

３Ｒは Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の３つのＲの総称で、資源を無駄なく大切に使い、環境負荷を減らすための取組です。

Reduce
リデュース
（発生抑制）

原材料を効率的に使用する、製品を長く使う、製品の稼働効率を高めるなどすることにより、廃棄物等の発生をおさえること。

Reuse
リユース
（再使用）

いったん使用された製品、部品、容器等をそのまま繰り返し使用すること。

Recycle
リサイクル
（再資源化・再生利用）

使い終わったものをもう一度原材料に戻して製品を作ること。

循環型社会を形成していくためには、Reduce、Reuse、Recycle の順番で取り組むことが求められています。Recycle は一度原材料に戻してから製品づくりなどに利用するという点で Reuse とは異なります。

何のために３Ｒをするの？

リデュース、リユース、リサイクルすることにより、

- 天然資源の消費をおさえ
- 環境への負荷をできる限り低減し

資源のムダな利用をなくすことで、持続可能な循環型の社会を実現するためです。

Point

３Ｒ推進ポスターデザインのポイントは、
働く人に３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）活動の推進を促すこと です。

働く人や事業者にできる３Ｒは何だろう

例えば

Reduce
リデュース
（発生抑制）

- 製品、部品、容器などをできるだけ少ない材料で構成することや長寿命化を考えて設計する。
- 原材料を無駄なく利用して製品を製造する。
- 修理や点検などのアフターサービスを充実させて、製品の長寿命化を推進する。
- 使用頻度の低いものはシェアする仕組みを導入する。

Reuse
リユース
（再使用）

- 使用済み製品、部品、容器（リターナブルびんなど）を回収して再使用する。
- リユース可能な製品を製造する。
- 使用済み製品を回収して、使用できる部品等をそのまま、再び別の製品に使う。

Recycle
リサイクル
（再資源化・再生利用）

- リサイクルしやすい製品を設計する。
- リサイクル原材料を使用する。
- 自社製品を回収してリサイクルする。
- 工場や工事現場で発生した副産物、使用済み製品を効率的にリサイクルする。

事業者は具体的にどんな努力をしているんだろう

事業者の優れた３Ｒ活動の具体例は
「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰　受賞者一覧」
をご覧ください。

3R　表彰　受賞者一覧　検索

皆さまからの「事業者の３Ｒ」を推進する素敵なアイデアをお待ちしています！